

東日本大震災:福島第1原発事故 福島の児童30人、 牛馬と触れあう――飛騨高山高 〓岐阜

毎日新聞 3月28日(木)

福島原発事故による放射能汚染の心配がない場所で春休みを過ごしてもらう「ふくしまキッズ飛騨高山」に参加している福島県内の小学生30人が27日、高山市山田町の県立飛騨高山高校を訪れ、同校で飼育されている木曾馬に乗ったり、飛騨牛と触れあうなどして楽しんだ。

屋外で放射能の心配をせずに楽しんでもらおうと、全国7カ所で実施、高山ではNPO教育支援協会東海が運営して25日から31日までの日程で体験活動などを行っている。

学校に到着した子どもたちは、同校の動物研究部員の案内で牛舎や豚舎を見学。8頭の木曾馬が飼育されている木曾馬舎では、木曾馬にまたがって大喜びしていた。乗馬を体験した福島県郡山市の桑野小3年、藤井日和さん(9)は「体が大きかったけどやさしい感じで怖くなかった」と笑顔で話していた。

【宮田正和】3月28日朝刊